

問題21~35			
	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3
21	商品回転率を求める式で誤っているものはどれか。		
	期中の商品売上高（売価） ÷ 期中の平均商品在庫高（売価）	期中の商品売上高（売価） ÷ 期中の平均商品在庫高（原価）	期中の商品売上数量 ÷ 期中の平均商品在庫数量
22	商品回転率の記述で正しいものはどれか。		
	商品回転率は可能な限り高くすべきである	商品回転率は可能な限り低くすべきである	商品回転率は一定に保つべきである
23	労働分配率の説明で正しいものはどれか。		
	売上高に占める総人件費の比率	粗利益高に占める総人件費の比率	営業利益に占める総人件費の比率
24	仕入枠を設定して、その枠内で在庫高の増減をコントロールしようとする技法をなんとするか。		
	セル・ワン・バイ・ワン	オープン・ツウ・バイ	ストック・キープ
25	下の図で（イ）期中売上高（原価）を求めよ。		
	3780	3580	3380
26	下の図で（ロ）期中原価率を求めよ。		
	75%	80%	85%
27	下の図で（ハ）粗利益高を求めよ。		
	1200	1300	1400
28	下の図で（ニ）粗利益率を求めよ。		
	25%	30%	32%
29	下の図の（ホ）あるべき在庫額（売価）を求めよ。		
	900	950	1000
30	下の図の（ヘ）不明ロス額（売価）を求めよ。		
	50	60	70
31	下の図の（ト）不明ロス率を求めよ。		
	1.13%	2.13%	3.13%
32	グローバルなロス調査（The Global Retail Theft Barometer 2014-2015）によれば、日本の小売業における不明ロスの総額はどのくらいか。		
	160億円	1600億円	1兆6000億円
33	ロスの特徴のうち誤っているものはどれか。		
	企業が自らの意思で支出したコストではない	大部分のロスは発生した時点で判明する	ロスが削減できれば、削減した分が直接利益に貢献する
34	営業利益率が2%でロス率が1.5%である場合、ロス対策への取り組みによってロス率を0.8%にすることができた。当初の営業利益高が1千万円とすると改善された結果の営業利益高はいくらになるか。売上高や販売管理費などの値に変化はないものとする。		
	1150万円	1250万円	1350万円
35	期中に廃棄伝票や値下げ処理の起票の漏れがあった場合、正しく伝票処理されていた場合と比較して、期末棚卸の結果では不明ロスはどうなるか。		
	不明ロスは変わらない	ーは減る	ーは増える

Q25

項目	数値
期首在庫額（原価）	1000
期中仕入額（原価）	3900
期中売上高（売価）	5400
期末在庫額（売価）	1600
期中売上高（原価）	（イ）
期中原価率	？
粗利益高	？
粗利益率	？

Q28

項目	数値（例）
期首在庫額（原価）	750
期中仕入額（原価）	3000
期中売上高（売価）	4200
期末在庫額（売価）	800
期中売上高（原価）	？
期中原価率	？
粗利益高	？
粗利益率	（ニ）

Q30

項目	数値（例）
期中売上高（売価）	5500
期末在庫額（売価）	1300
期中原価率	72.0%
期首在庫額（売価）	1600
期中仕入額（売価）	5400
期中値下、廃棄（売価）	130
あるべき在庫額（売価）	？
不明ロス額（売価）	（ヘ）
不明ロス率	？
期末在庫額（原価）	？

Q26

項目	数値
期首在庫額（原価）	900
期中仕入額（原価）	3900
期中売上高（売価）	5000
期末在庫額（売価）	1400
期中売上高（原価）	？
期中原価率	（ロ）
粗利益高	？
粗利益率	？

Q29

項目	数値（例）
期中売上高（売価）	6000
期末在庫額（売価）	800
期中原価率	75.0%
期首在庫額（売価）	1000
期中仕入額（売価）	5900
期中値下、廃棄（売価）	0
あるべき在庫額（売価）	（ホ）
不明ロス額（売価）	？
不明ロス率	？
期末在庫額（原価）	？

Q31

項目	数値
期中売上高（売価）	4800
期末在庫額（売価）	1300
期中原価率	72.0%
期首在庫額（売価）	1600
期中仕入額（売価）	4900
期中値下、廃棄（売価）	250
あるべき在庫額（売価）	？
不明ロス額（売価）	？
不明ロス率	（ト）
期末在庫額（原価）	？

Q27

項目	数値（例）
期首在庫額（原価）	500
期中仕入額（原価）	4000
期中売上高（売価）	5200
期末在庫額（売価）	800
期中売上高（原価）	？
期中原価率	？
粗利益高	（ハ）
粗利益率	？

